

平成30年度 学校関係者評価（学校評議員）

北海道札幌琴似工業高等学校 定時制課程

【重点目標】

（１）自ら学ぶ意欲を育て、基礎的・基本的な内容の定着を図る学習指導の推進に努める。
（２）責任感と思いやりの心を持ち、自ら律する力と社会性を育む生徒指導の充実を図る。
（３）自らの生き方を考え、主体的に進路を決定する力を育成する。
（４）自他の生命を尊重し、相手を思いやる「豊かな心」を育てる。

【経営方針】

（１）校訓をもとに学校教育目標達成のため、重点目標の具現化に努める。
（２）基礎学力の向上に努め、国語教育の充実と道徳教育の推進を図る。
（３）社会のルールやマナーを身につけさせ、豊かな心を培い公共心を養う。
（４）自分の「存在感・有用感」を持てる学習環境づくりに努める。

【指導の重点事項】

学習指導	1, わかる授業、心に響く授業を目標に、生徒に視点をおいた授業の工夫改善に努める。 2, 問題を解く力、問題に取り組む力、問題を読み解く力を養う。 3, 授業規律の確立に努め、学ぶ意欲のもてる教育課程の編成に努める。
生徒指導	1, 個別指導、集団指導を通して、基本的生活習慣の育成に努める。 2, 暴力、いじめを許さず、命と人格を大切に作る姿勢を育成する。 3, 運転者会や講話等、あらゆる機会をとらえて、交通安全指導の徹底を図る。
進路指導	1, 講話等を積極的に推し進め、生徒の進路意識の高揚を図る。 2, 学科、教科との連携を図り、作文指導や面接指導の充実を努める。 3, 積極的に職場開拓を行い、本校定時制のPRに努める。
健康・安全指導	1, 学校生活不適応生徒の解消に向け、特別支援委員会と連携し取り組む。 2, 心身の健康を自ら育むことのできる生徒を育成する。 3, 学校管理下の事故防止に向け、適切な安全管理や安全教育に努める。

学校関係者評価項目欄に「A：充分、B：適当、C：不十分、D：要検討」でご記入下さい。

			自己評価		学校関係者評価項目			
分野・領域	No	評価項目	達成状況と主な取り組み (5点満点)		改善への方策	自己評価 の適切さ	取り組み の適切さ	改善方策 の適切さ
教育課程	1	重点目標、経営方針に沿った教育課程	3.8	新学習指導要領の導入にともなう新教育課程を編成するため、「あたらしい教育課程を考える会」(有志の会)を立ち上げ、育成を目指す資質能力の三つの柱等を教育課程委員会に提案する予定。	新教育課程を編成するため、教育課程委員会を活発に機能させて、教職員全体で学校が目指す生徒像に向けて取り組む。 教職員の学校経営への積極的な参画。	B(4.3)	B(4.3)	B(4.3)
	2	生徒の実態に応じた教育課程編成	3.8					
	3	「在り方・生き方」教育の実践	3.7					
学習指導	4	学習習慣の確立に向けた取り組み	3.5	生徒状況の把握と授業規律確立のために、教職員間で共通理解を図る。授業時数確保のためバランス良く、授業振替など行った。	引き続き、学習習慣の確立に向けて計画的な指導が出来るよう工夫する。 また、特別支援教育については、教職員間で情報共有を確実にし指導に当たる。授業時数確保の推進。 生徒の実態に応じた各教科毎の指導内容の明確化が急務。	A(4.5)	B(4.4)	B(4.4)
	5	個に応じた教育内容、指導方法	3.9					
	6	教科指導の計画性	3.9					
	7	授業時数の確保	4.4					
生徒指導	8	教職員の理解と協力及び組織的な連携	3.9	様々な案件に対して連携を密にし、組織としての対応により効果をあげた。 悩みや問題行動の早期発見についての連携して対応した。	今後も問題行動の未然防止に努め、事故が発生した場合も教職員間で連携して迅速に対応していく。家庭との連携も重要。 また、教育相談や特別支援に関する情報の共有と組織的な支援の充実を図る。	B(4.4)	B(4.4)	B(4.4)
	9	家庭や関係機関との連携	3.9					
	10	悩みや問題の早期発見及び適切な指導	3.8					
進路指導	11	自己理解の深化や進路意識の高揚	4.1	進路講話、進路学習等の指導を行うとともに、積極的な進路開拓に努め、成果を上げた。進学希望者の指導もしっかり行えた。進路未決定者への対応に苦慮した。	進路意識の高揚を図るために、今後も高校生活4年間を見据えた系統的・継続的な進路指導体制の確立と進学希望者への計画的な指導の充実。	A(4.6)	A(4.6)	A(4.6)
	12	学年、教科との連携	3.9					
	13	興味・関心、能力・適性等を生かした指導	4.0					

学校関係者評価項目欄に「A：充分、B：適当、C：不十分、D：要検討」でご記入下さい。

分野・領域	No	評 価 項 目	自己評価		学校関係者評価項目		
			達成状況と主な取り組み (5点満点)	改善への方策	自己評価 の適切さ	取り組み の適切さ	改善方策 の適切さ
健康安全	14	健康で安全な生活を送るための指導体制	4.1	特別支援教育に関して委員会と担任の連携による特別な配慮を行った。	A(4.7)	A(4.5)	A(4.7)
	15	特別な支援を必要とする生徒の把握、対応	4.2				
特別活動	16	充実した学校生活を送るための活動内容	3.7	各種の行事の目的と効果の検証及び反省を実施。	A(4.5)	A(4.5)	B(4.3)
	17	各種行事の見直しや工夫	4.0				
組織運営	18	会議の効率的運営のための事前準備	4.2	各分掌担当者との密な情報交換と状況把握に努め、円滑な組織運営を図った。更に組織的な取り組みが必要。 学校HPによる積極的な情報発信を行った。	A(4.5)	A(4.5)	A(4.5)
	19	分掌や委員会での計画の修正や改善	4.2				
	20	管理職員からの適切な指導助言	4.3				
	21	保護者・地域住民への情報発信	3.5				
研 修	22	校内研修会のテーマや時期の適切性	3.5	必要に応じた研修資料を配付し、現状や課題を提示した。SCとの関わり、観点別評価等の研修を行った。	B(4.0)	B(4.0)	B(4.0)
	23	学習活動の充実に関する情報交換や研修	3.5				

本校定時制の取り組み等についてご意見がありましたら、ご記入下さい。

・多様化する生徒に対して欠かせぬ存在であると痛感しています。